

2022年度業務実績報告書

提出日 令和5年 1月 6日

1. 職名・氏名 准教授・松本涼

2. 学位 学位 文学修士、専門分野 西洋史学、授与機関 京都大学、授与年 2007

3. 教育活動

<p>(1)講義・演習・実験・実習</p> <p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 西洋史（2単位 毎年開講） 1・2・3年生（2020年～2022年度） 神話学（2単位 毎年開講） 1・2・3年生（2020年～2022年度） 教養ゼミ（1単位 毎年開講） 1年生（2022年度） 学術ゼミ（2単位 毎年開講） 2・3・4年生（2019年～2021年度） 比較文化論（2単位） 1・2・3年生（2020年～2022年度）：オムニバス授業の一回を担当</p> <p>② 内容・ねらい 講義科目では西洋や北欧といった日本とは異なる歴史・文化をもつ地域を対象とし、現代の社会問題を歴史的背景から考察すること、また異文化の理解を通じて幅広い視野と視点を養うことを目的としている。 ゼミ（演習）では特定のテーマに沿った文献を読み、議論することで、読解力や批判的思考力、異なる視点の習得をめざしている。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義科目では視覚資料（画像・映像・マンガ等）による解説や課題を多用し、学生の興味を高める工夫をした。またハイブリッド形式・オンデマンド受講も可能とし、柔軟な学習方法を提供した。西洋史と神話学では2名のゲストスピーカー（オンライン1名、対面1名）も招聘し、それぞれの専門分野に関する講義をおこなっていただいた。 ゼミ（演習）では今年は「文系と理系はなぜ分かれたのか」、「ウクライナとロシアの歴史的関係」といった現在の社会が直面する問題を取り上げ、問題の背景にどのような歴史があるのか、また問題解決のためには何が必要かを議論・考察し、社会の大きな問題を自分の身近なものとして捉えられるよう工夫した。</p> <p style="text-align: right;">【ゲストスピーカー 2人】 【フィールドワーク等 0件】</p>
<p>(2)その他の教育活動 立教大学オンライン講義「専門基礎7」2022年9月26日～2023年1月23日 静岡大学後期集中講義「比較文学各論II」2022年12月24日～12月27日</p>

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書 『アイスランド海の女の人類学』 マーガレット・ウィルソン著、向井和美訳、2022年10月、青土社（解説・アイスランド語表記監修担当）	【1本】
②学術論文（査読あり）	【本】
③その他論文（査読なし） ソウルディス・エッダ・ヨウハネスドッティル著、*松本涼訳「ヨームスヴィーキングルの過去と現在」『日本アイスランド学会会報』41号、1-33頁、2022年10月掲載	【1本】
④ 学会発表等 1. 「氷の国という舞台設定」（座談会『映画のなかの「北欧」』：アイスランド・バルト諸国映画編）バルト=スキャンディナヴィア研究会1月例会、2022年1月 2. 西洋史読書会第90回大会シンポジウム「西洋史学と出版の今とこれから」コメント、京都大学西洋史読書会大会、2022年11月 3. “Is Valhøll a Paradise? Adaptations of Norse Myths in Modern Japanese Fiction”, 第18回国際サガ学会、ヘルシンキ-タリン、2022年8月	【3件】
⑤ その他の公表実績 「2021年度若手セミナー報告「頭と舌で味わう中世の食文化：レクチャー編」」*松本涼・福田智美・頼順子『西洋中世研究』14号、247-250頁	【1本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
1. 前近代海域ヨーロッパ史の構築：河川・島嶼・海域ネットワークと政治権力の生成と展開 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(A) 2019年4月～2024年3月 2. 2022年度サントリー文化財団研究助成「学問の未来を拓く」（2022年7月～2023年6月）	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
・委員 1. 2022年9月～現在 日本アイスランド学会 事務局長 2. 2013年6月～現在 西洋中世学会 研究会・講演会組織委員会 委員 3. 2022年10月～現在 歴史家ワークショップ執行部 ・企画運営 2021年度若手セミナー「頭と舌で味わう中世の食文化：レクチャー編」司会・運営、西洋中世学会、2022年2月5日 YouTubeにてライブ配信	

5. 地域・社会貢献活動

⑥

公開講座「はじめて学ぶ北欧神話」福井県立大学、2022年11月11日～11月25日

特集「アイスランド～その歴史と政治・経済」塩田潤×松本涼×荻上チキ×南部広美
TBS ラジオ 荻上チキ・Session 2022年12月9日 テレビ・ラジオ番組

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

(3)学内行事への参加

ワールド・カフェイベント、アイスランドのクリスマス企画協力、2022年12月20日

(4)その他、自発的活動など